



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 木村化工機株式会社  
コード番号 6378 URL <https://www.kcpc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 康真

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門長 (氏名) 福田 正行

TEL 06-6488-2501

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	9,312	32.4	720		751		475	
29年3月期第2四半期	7,033	15.4	12	98.1	18	97.1	5	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 596百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 0百万円 ( 99.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	24.10	
29年3月期第2四半期	0.28	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	23,921	9,048	37.8
29年3月期	20,606	8,581	41.6

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 9,048百万円 29年3月期 8,581百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				7.00	7.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,400	17.7	1,200	26.1	1,230	26.1	850	34.6	43.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	20,600,000 株	29年3月期	20,600,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	825,578 株	29年3月期	866,578 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	19,747,089 株	29年3月期2Q	19,733,422 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	3
	(キャッシュ・フローの状況の分析)	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
	(継続企業の前提に関する注記)	10
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
	(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動))	10
	(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
	(セグメント情報)	11
3.	その他	12
	(受注、売上及び受注残の状況)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果もあり、企業収益や雇用環境は改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移しましたが、新興国経済の景気減速、米国の政策動向や地政学的リスクの高まり等から依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、当社の業績に影響のある国内向け設備投資につきましては、多くの企業では依然として設備投資意欲は高まらず、慎重な姿勢が維持され、既存設備の維持・更新が中心となりましたが、一部の企業や業種では主要製品の増産対応や成長が見込まれる分野への投資を計画する動きがありました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、受注高は11,727百万円と前年同四半期に比べ5,400百万円の増加(+85.4%)となり、売上高は9,312百万円と前年同四半期に比べ2,278百万円の増加(+32.4%)となりました。

損益面につきましては、当第2四半期連結累計期間の営業利益は720百万円(前年同四半期は営業利益12百万円)、経常利益は751百万円(前年同四半期は経常利益18百万円)となり、その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は475百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失5百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① エンジニアリング事業

化学機械装置の設計・製作・据付工事を行うエンジニアリング事業につきましては、主要機器を自社工場で作成する強みを活かし、設計・製作・調達・現地工事・工程管理・試運転までを一貫して行うプラントエンジニアリング(EMPC)方式での受注増大に向け、設備投資を計画する顧客を中心に技術力を前面に打ち出した企画提案を積極的に展開しました。

その結果、受注高は3,771百万円と前年同四半期に比べ1,929百万円の増加(+104.7%)、売上高は4,250百万円と前年同四半期に比べ1,586百万円の増加(+59.5%)となり、セグメント利益(営業利益)は443百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)329百万円)となりました。

※ 「EMPC」とは、プラント建設業界では一般的に知られている「EPC」(設計(Engineering)、調達(Procurement)、建設(Construction)の略)に、製造(Manufacturing)の「M」を加えた当社造語(商標登録番号第5934356号)です。

## ② 化工機事業

化学機械装置の現地工事・メンテナンス業務を行う化工機事業につきましては、高付加価値製品の増産に向けた新規投資を行う顧客も一部に見受けられましたが、顧客の多くが先行き不透明なわが国の経済環境を背景に、設備投資に対する慎重な姿勢を維持し、既存設備の安定稼働のための保全・更新の各工事が主たる業務となりました。

その結果、受注高は3,499百万円と前年同四半期に比べ316百万円の増加(+9.9%)、売上高は3,508百万円と前年同四半期に比べ125百万円の増加(+3.7%)となり、セグメント利益(営業利益)は278百万円と前年同四半期に比べ111百万円の減少(△28.6%)となりました。

## ③ エネルギー・環境事業

原子力を含むエネルギー・環境関連機器の設計・製作・設置工事を行うエネルギー・環境事業につきましては、再稼働に向けた安全審査に進捗が見られる原子力発電所および核燃料サイクル施設関連では新規規制基準対応への工事、また、福島原子力発電所関連では廃棄物処理に関する設備等の受注および売上に注力しました。

その結果、受注高は4,456百万円と前年同四半期に比べ3,154百万円の増加(+242.4%)、売上高は1,553百万円と前年同四半期に比べ567百万円の増加(+57.6%)となり、セグメント損失(営業損失)は1百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)47百万円)となりました。

なお、当社グループは、通常の営業形態として、年度末に完成する工事の割合が大きいため、各四半期の生産、受注及び販売の状況の間に著しい相違があり、四半期毎の業績に季節的変動があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により2,243百万円増加、投資活動により65百万円減少、財務活動により151百万円増加したこと等により、当第2四半期連結累計期間期首に比べ2,335百万円増加(前年同四半期末比2,261百万円増加)し、当第2四半期連結会計期間末には5,087百万円となりました。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動により資金は2,243百万円増加し、前年同四半期に比べ1,131百万円流入が増加致しました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の増加などです。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動により資金は65百万円減少し、前年同四半期に比べ41百万円流出が増加致しました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出の増加です。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動により資金は151百万円増加し、前年同四半期の571百万円の流出から722百万円変動し、流入に転じました。主な要因は、長期借入れによる収入の増加です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3および第4四半期につきましては、当社グループは、一丸となり、引き続き受注拡大に向け営業活動を積極的に展開するとともに、原価低減および販管費等コスト削減により利益の増加を図る所存です。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は、ほぼ当初の予定通り推移いたしました。利益面ではコスト管理の徹底を行ったことによる経費削減、工程管理の強化による原価率の改善により、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益とも当初予想を上回りました。

なお、平成30年3月期通期の業績予想につきましては、当期中に受注した大型進行基準案件が当期の売上高に寄与すること、子会社2社の吸収合併による特別利益(抱合せ株式消滅差益)の計上、第2四半期累計期間の業績を踏まえ、当初予想を修正いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,751	5,087
受取手形及び売掛金	9,162	9,263
仕掛品	852	1,470
原材料及び貯蔵品	32	33
繰延税金資産	239	238
その他	455	605
貸倒引当金	△10	△11
流動資産合計	13,483	16,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,179	1,158
機械装置及び運搬具（純額）	196	177
工具、器具及び備品（純額）	79	75
土地	3,664	3,664
リース資産（純額）	40	1
建設仮勘定	0	75
有形固定資産合計	5,161	5,153
無形固定資産		
	28	29
投資その他の資産		
投資有価証券	973	1,116
退職給付に係る資産	219	241
繰延税金資産	696	647
その他	49	50
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	1,933	2,050
固定資産合計	7,122	7,233
資産合計	20,606	23,921

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,057	4,824
電子記録債務	1,237	1,737
短期借入金	502	548
リース債務	15	24
未払法人税等	170	264
前受金	1,236	2,381
賞与引当金	381	363
役員賞与引当金	3	—
工事損失引当金	13	16
完成工事補償引当金	208	170
その他	474	514
流動負債合計	8,300	10,846
固定負債		
長期借入金	625	883
リース債務	28	57
役員株式給付引当金	6	39
長期未払金	198	153
退職給付に係る負債	1,841	1,865
資産除去債務	52	52
再評価に係る繰延税金負債	970	970
その他	—	4
固定負債合計	3,724	4,027
負債合計	12,024	14,873
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,030	1,030
資本剰余金	103	103
利益剰余金	5,407	5,740
自己株式	△331	△317
株主資本合計	6,209	6,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	288	389
繰延ヘッジ損益	△0	1
土地再評価差額金	2,200	2,200
退職給付に係る調整累計額	△116	△98
その他の包括利益累計額合計	2,372	2,492
純資産合計	8,581	9,048
負債純資産合計	20,606	23,921

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	7,033	9,312
売上原価	6,106	7,596
売上総利益	927	1,716
販売費及び一般管理費	914	996
営業利益	12	720
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	26	22
受取賃貸料	5	5
為替差益	—	5
その他	5	8
営業外収益合計	37	42
営業外費用		
支払利息	6	4
為替差損	21	—
固定資産除却損	0	4
支払手数料	1	2
その他	1	0
営業外費用合計	31	11
経常利益	18	751
特別利益		
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産除却損	—	33
ゴルフ会員権評価損	—	0
役員退職慰労金	6	—
特別損失合計	6	33
税金等調整前四半期純利益	14	717
法人税等	20	241
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5	475
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	475



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5	475
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	100
繰延ヘッジ損益	—	1
退職給付に係る調整額	26	17
その他の包括利益合計	6	120
四半期包括利益	0	596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	0	596

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14	717
減価償却費	79	93
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△126	△17
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14	△3
工事損失引当金の増減額(△は減少)	30	3
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△7	△38
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△202	—
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	45
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△9	27
受取利息及び受取配当金	△26	△22
支払利息	6	4
為替差損益(△は益)	17	△6
固定資産除却損	0	38
投資有価証券売却損益(△は益)	△2	—
ゴルフ会員権評価損	—	0
売上債権の増減額(△は増加)	3,976	△101
たな卸資産の増減額(△は増加)	△495	△619
その他の資産の増減額(△は増加)	132	△155
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,556	1,266
前受金の増減額(△は減少)	△474	1,144
その他の負債の増減額(△は減少)	△88	△13
小計	1,251	2,365
利息及び配当金の受取額	26	22
利息の支払額	△6	△4
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△159	△140
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,112	2,243

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△25	△57
無形固定資産の取得による支出	△1	△5
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	3	0
貸付けによる支出	—	△1
貸付金の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23	△65
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△150	—
長期借入れによる収入	—	600
長期借入金の返済による支出	△277	△296
リース債務の返済による支出	△6	△9
配当金の支払額	△138	△143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△571	151
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	499	2,335
現金及び現金同等物の期首残高	2,326	2,751
現金及び現金同等物の期末残高	2,825	5,087

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

該当事項はありません

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

・報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	エンジニア リング事業	化工機事業	エネルギー ・環境事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,663	3,383	986	7,033	—	7,033	—	7,033
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	349	0	349	—	349	△349	—
計	2,663	3,733	986	7,383	—	7,383	△349	7,033
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△329	390	△47	12	—	12	—	12

(注)1. 調整額は以下の通りであります。

売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益(合計)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

・報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	エンジニア リング事業	化工機事業	エネルギー ・環境事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,250	3,508	1,553	9,312	—	9,312	—	9,312
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27	241	—	269	—	269	△269	—
計	4,278	3,750	1,553	9,581	—	9,581	△269	9,312
セグメント利益又は セグメント損失(△)	443	278	△1	720	—	720	—	720

(注)1. 調整額は以下の通りであります。

売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益(合計)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3. その他

(受注、売上及び受注残の状況)

セグメント	前第2四半期連結累計期間 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自平成29年4月1日 至平成29年9月30日		前連結会計年度 自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
(受注高)						
エンジニアリング事業	1,842	29.1	3,771	32.2	8,526	40.4
化工機事業	3,183	50.3	3,499	29.8	8,865	42.0
エネルギー・環境事業	1,301	20.6	4,456	38.0	3,708	17.6
合計	6,326	100.0	11,727	100.0	21,099	100.0
(売上高)						
エンジニアリング事業	2,663	37.9	4,250	45.6	6,356	36.7
化工機事業	3,383	48.1	3,508	37.7	7,601	43.8
エネルギー・環境事業	986	14.0	1,553	16.7	3,373	19.5
合計	7,033	100.0	9,312	100.0	17,331	100.0
(受注残高)						
エンジニアリング事業	4,932	37.9	7,444	37.2	7,923	45.1
化工機事業	1,591	12.3	3,046	15.3	3,055	17.4
エネルギー・環境事業	6,475	49.8	9,499	47.5	6,596	37.5
合計	12,999	100.0	19,991	100.0	17,575	100.0
(注) 輸出状況	(前第2四半期連結累計期間)		(当第2四半期連結累計期間)		(前連結会計年度)	
輸出関係売上高(百万円、%)	168	2.4	464	5.0	1,493	8.6
エンジニアリング事業	167	2.4	445	4.8	1,420	8.2
エネルギー・環境事業	0	0.0	19	0.2	73	0.4